

# 「2019年度化学工学会インターンシップ」を終えて

公益社団法人化学工学会 人材育成センター高等教育委員会  
吉見智之

人材育成センターでは、毎年、大学院の学生を対象にインターンシップ研修の希望者を募集し、登録企業に研修をお願いしています。本年度は79名の応募があり、過去最高の53名の学生が7月から11月にかけて、それぞれの会社でインターンシップ研修を実施、修了しました。例年40名を超える学生の採用でしたが、今年は企業のご協力、例年を上回る2/3の学生が採用になりました。

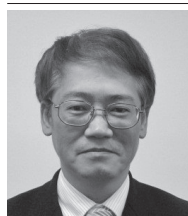
本会のインターンシップでは、受入登録をして頂いた企業にご協力頂き、化学工学系の学生向けのテーマやコースを設定、2週間から1ヶ月の比較的長い期間の研修をおこなっています。学生の受入れを準備頂いた企業の人事や企画関係部署、ご多忙中インターンシップを実施頂いた部署におかれては、お引き受け頂き、誠にありがとうございます。誌面を借りて御礼申し上げます。

2019年度のインターンシップ報告会は、関西大学千里山キャンパスでおこなわれる第85年会初日の3月15日(日)

に開催します。企業からインターンシップ活動の紹介、およびインターンシップ研修生を直接指導した若手社員(メンター)から研修の報告をして頂きます。また、5名前後のインターンシップ研修を修了した学生から研修の体験について発表頂きます。その後、情報交換や意見交換の場として交流会もおこないます。本報告会・交流会のみに参加希望の学生は、年会参加費無料で参加できるようにしています(但し他の年会のセッションには参加不可)。来年度のインターンシップ研修をお考えの学生は是非参加して、報告会および交流会で情報収集をおこなってください。

インターンシップ研修を実施した学生からの一言コメントを掲載します。次年度のインターンシップに役立てていただければ幸いです。また、新たに本会のインターンシップに参加頂ける企業を引き続き募集しております。是非ご検討頂き、「インターンシップ」係 (E-mail: internship\_2020@scej.org) までご一報ください。

氏名	大学名	一言コメント	研修先企業
赤木 夏帆	早稲田大学	企業では、最終的な製品としての出口も考えながら、実験や解析を効率よく進めていく意識が高いと感じた。	富士フィルム(株)
石松 杏葉	九州工業大学	企業での生活を体験し、化学工学がプロセスエンジニアという職業にどのように活かされているか、身を以て知ることができた。	(株)カネカ
板野 竜也	岡山大学	研修を通してスキル不足と企業で働く社会人としての考え方を学んだ。今後の研究室生活に活かしたいと思います。	出光興産(株)
井上 雄斗	東北大学	樹脂の溶解挙動データ取得をおこなった。研究を通じて実機導入へ向けた取り組みの大切さを学んだ。	(株)カネカ
伊吹 匠	名古屋大学	反応器のスケールアップを検討した。大学で学んだ化学工学の知識が実際に業務に活かされる喜びを感じた。	東レ(株)
上田 裕喜	鹿児島大学	マイクロフローリアクターを用いた気-液-固反応の開発をおこなった。各パラメータを変更したときの選択率の比較をおこない、最適条件の検討をした。	JNC(株)
内田剣士朗	金沢大学	フラスコスケールからプラントスケールという商品開発の一連の流れに関する化学工学の重要性を理解することができた。	東亜合成(株)
内野 貴行	東京農工大学	設計や製造についての業務内容を具体的に知ることができた。疑問点を丁寧に説明して頂けた。	東ソー(株)
浦田 宙明	東北大学	企業において求められる、化学工学の知識の範囲・質を学ぶとともに、働く姿勢の点において、常に全体を俯瞰する力の必要性を学んだ。	出光興産(株)
岡崎 義史	広島大学	化学工学の基礎知識がプラントを実際に運用するために役立てられているということを実感することができた。	国際石油開発帝石(株)
小川優太郎	広島大学	企業での研究がどのようにおこなわれているか、またモノづくりにおける化学工学の重要性を感じる事ができた。	花王(株)
小野 顕	鹿児島大学	スケールを変化させた実験をすることで、化学工学を仕事としていく上での知識や経験、イメージを得た。	住友化学(株)
笠原奈々美	金沢大学	大学では学ぶことが難しい、スケールアップ検討の体験を通じて、化学工学のおもしろさややりがいを感じる事ができた。	花王(株)
梶原 康輔	早稲田大学	化学工学が現場でどのように活用されているか学び、実際のプラントの規模を定量的にも体感的にも知ることができた。	JSR(株)
兼子 穰	金沢大学	実際に現在進行しているプロジェクトに配属され、その中でおこなう業務や会議、ワークショップ、また社員の方々と食事会などにも参加させて頂いた。その中で自分が思い描いていた仕事やそうでない仕事もありイメージと現実の乖離をなくす事ができた。	日揮グローバル(株)



Tomoyuki YOSHIMI (正会員・上席化学工学  
技士)  
1992年 京都大学大学院工学研究科化学工学  
専攻修了, 博士(工学)  
現在 (株)カネカ生産技術研究所  
連絡先: 〒676-8688 兵庫県高砂市宮前町  
1-8  
E-mail Tomoyuki.Yoshimi@kaneka.co.jp

川見菜実香	京都工芸繊維大学	研修を通して、化学メーカーで働くイメージを掴むことができた。また大学と企業の取り組み方の違いを感じた。	(株)カネカ
小平 修	東北大学	グループワークを通して大学と企業の異なる点を肌で感じることができ、将来のキャリア選択の参考になった。	富士フィルム(株)
後藤 泰斗	東北大学	短期間で基礎物性測定およびプロセス設計をおこない、化学工学の企業における立ち位置を理解することができた。	出光興産(株)
小林 拓矢	東北大学	東レ(株)でのインターンを通じ、化学工学が実際に企業で役立っている場面を肌で感じられ、今後の研究の励みとなった。	東レ(株)
五味 大輝	京都工芸繊維大学	ラボスケールの実験結果を元に解析をおこないプラントスケールの設計をおこなった。生産技術職を知るという目標を達成するとともに、今後の自分の課題を明らかとすることができた。	出光興産(株)
佐藤遼太郎	室蘭工業大学	プラント設計において実務に近い業務を体験できた。会社の雰囲気を感じることができた。	東洋エンジニアリング(株)
高橋 秀和	岡山大学	ラボからプラントまでを繋ぐ生産技術職の魅力を体験できた。普段は考えない経済性についても考慮してシステムの設計をおこない大変勉強になった。	出光興産(株)
高松 杏壮	広島大学	新規開発に関わらせて頂き、商業的な利益を踏まえた研究の進め方を体験し、大学研究との違いを実感した。	協和発酵バイオ(株)
瀧森 祥造	静岡大学	インターンシップを通して、現場で働く感覚を知る事ができた。この経験を今後にも活かしていきたい。	東亜合成(株)
田切 颯馬	東京農工大学	化学プラントでは化学工学がどのように活用されているかを知ることができた。同時に、仕事の難しさを実感した。	JSR(株)
田中 秀明	早稲田大学	大学での研究とは違い、コストや利益を考える必要があり、このことを大学生のうちに体験することができた。	出光興産(株)
谷口奈緒子	金沢大学	実際の現場を見学し、実習をおこなうことで、働くことのイメージを実感し、化学工学の重要性とエンジニアとしての必要なスキルであると認識することができた。	東レ(株)
陳 博志	早稲田大学	本研修では攪拌という単位操作を通じて、化学工学が研究の職場で生かされていることを体感できた。	花王(株)
津田 哲昌	京都工芸繊維大学	プラントを設計から建設するまでの具体的な流れと用いられるツールについての教養が身についた。	日揮グローバル(株)
釣谷佳乃子	東京農工大学	ラボスケールでの実験・解析をおこなった。企業での研究の面白さや難しさと化学工学の重要性を実感できた。	花王(株)
難波 憲裕	関西大学	生産技術職の業務を体験でき理解が深まったとともに化学メーカーで働くイメージを持つことができた。	日本ゼオン(株)
西田 宜央	関西大学	自身の専門性を活かすことができるか挑戦することを目的とし、商品開発を通じて様々なことを学んだ。	住友バークライト(株)
西田 雄貴	鹿児島大学	インターンシップを通じて研究や講義で学んできた化学工学の重要性を再認識できた。また、企業で働くイメージを明確に持つことができた。	東ソー(株)
野原 宏太	慶應義塾大学	エンジニアリング業務では化学工学の知識はもちろんコミュニケーション能力も重要であることが分かった。	日揮グローバル(株)
野村 舜	東北大学	化学工学を重要視している企業の研究開発を体験することで工業における化学工学の重要性を知り、将来においても携わっていきたく感じる研修だった。	花王(株)
橋本 颯人	東京農工大学	研修を通して、工業における化学工学の立場や重要性、実際の仕事の大変さを改めて認識することができた。	富士フィルム(株)
長谷川 奨	新潟大学	化学工学がどのように活かされているのかを知ることができた。有意義な時間を過ごすことができた。	三菱ケミカル(株)
濱田 健	宇都宮大学	プラントの基本計画、設計の業務について、実際に働く方々のお話も聞きながら学ぶことができ、貴重な経験を得られた。	月島機械(株)
林 知広	名古屋大学	2週間のインターンシップの中で、乳化条件の検討、PETフィルムの延伸、マイクロカプセルの作成条件検討の3つのテーマをおこなった。実習の中で、富士フィルムの事業内容や業務をおこなう際の考え方について学んだ。	富士フィルム(株)
服巻 晃志	鹿児島大学	言葉でしか理解できていなかった考えが深まり、化学工学という分野の重要性を再確認できた。	綜研化学(株)
樋口 昌渡	東北大学	仕事に対する意識や仕事の進め方について企業と大学との類似点・相違点を学び、イメージを掴むことができた。	東レ(株)
廣崎 勇多	東北大学	ラボスケールから実機を想定し設計するという実際に企業がおこなっている一連のプロセスを体験することで、将来技術者として働くイメージが掴めた。	出光興産(株)
弘中 瑞樹	広島大学	今回のインターンシップでは企業でおこなわれる研究室ではおこなえないような検討を実際に体験させて頂いた。	出光興産(株)
藤井 健梧	東京農工大学	化学工学の知識が企業の中でどのように活かされているのかを知ることができた。また、今後の自分自身のキャリアについても考える良い機会となった。	月島機械(株)
前川 幸輝	関西大学	プロセス開発の一部の業務を担当して化学工学の重要性を改めて認識できた。	日揮グローバル(株)
丸山希世果	岩手大学	反応解析によって化学工学の知識がメーカーでどのように活用されているかを知ることができ、とても貴重で有意義な時間を過ごすことができた。	(株)クレハ
宗像 瀬文	早稲田大学	プロセスに対する俯瞰的な理解とプラント業界の専門性の高い知識を学ぶことができた、有意義な体験だった。	日揮グローバル(株)
村越 亮	東京農工大学	プロセス設計の業務を体験することにより、企業が実際にどのように化学工学を利用しているか知ることができた。	千代田化工建設(株)
安成 竜輝	神戸大学	ラボスケールから実機に至るまでのスケールアップを見据えた実験の計画の立て方を学ぶことができた。	(株)カネカ
山下 玲	宇都宮大学	常に実機に導入することを意識しながら3次元的な視点でP&IDを作製していく難易度の高さに、大きなやりがいを感じることができ、2週間で自分を大きく成長させることができた。	東洋エンジニアリング(株)
山下 廉太	鹿児島大学	化学工学を専攻している者として、座学だけでは学べない環境での実験は非常に新鮮であり、良い刺激となった。また、化学工学の必要性を改めて実感できたインターンシップになった。	(株)ダイセル
吉江 優一	早稲田大学	より良い消費財を社会に供給するためには、製造プロセスの連続・簡易化、最適化が重要であることを学んだ。	花王(株)
吉沼 優輝	埼玉大学	実プラントの解析に携わったことで、数値解析の技術がどのようにモノづくりの現場で生かされているのかを体感できた。	住友化学(株)